

伊陸夢プランだより

第23号
令和5年6月22日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

伊陸小連合大運動会に参加しました。《5月27日（土）》

地域競技の「イカチ・GO！（綱引き）」、「地震だ！火事だ！バケツリレー」の2種目と、1・2年生と百働会による「玉入れ」に参加しました。ご参加いただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。おかげさまで大変盛り上がりました。また、前日の準備や、当日の競技の準備、片づけ等、多くの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

「伊陸夢プラン」の課題解決策の中に、「コミュニティ・スクールの充実による学校と地域の活性化を進める」とあります。その取り組みの一つとして、「伊陸小連合大運動会」への参加は、以前から積極的に行って参りましたが、児童数減少の現状においては、地域の皆様のご協力が不可欠となっております。今後とも、皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、「伊陸小連合大運動会」での休憩時間をお借りして、「伊陸夢プラン」の取り組みの一つである「防災意識を高める」事を目的に、「防災豆知識」をお伝えいたしました。真剣に耳を傾けてくださる方も多く、地域に防災意識を浸透させる一助となれば幸いです。

これから梅雨も本番を迎え、台風のシーズンもやって来ます。また最近では、日本各地で大きな地震も頻発しています。過去には伊陸でも、土砂崩れや床下浸水等の被害も起きています。いつ自分の身の回りで災害が起きてもおかしくありません。日頃から、自分や家族でできる対策、ご近所同士でできる対策を考えておきましょう。地域の皆さんで、「いざという時に困らない、みんなで助け合える伊陸」を築いていきましょう。



○「自主防災組織」の取組について

長野自治会で「自主防災研修」を開催しました。《6月4日（日）》

研修内容…「119番通報の仕方」
「救急処置の仕方（心臓マッサージ・AEDの使用）」
「土砂災害について」

火事・救急・救助は「119」番です。

通信指令室員からの問いかけに、「ゆっくり」「はっきり」「おちついて」話してください。

傷病者が自発呼吸をしていない場合は、「心臓マッサージ」と「AED操作」のサイクルを繰り返します。

（※AED（自動体外除細動）とは、不整脈を診断して電気ショックが必要かどうかを判断し、必要な場合には電気ショックを与える装置で、音声ガイダンスによって操作の手順を教えてくれ、誰でも安全に使用できるようになっています。）

AEDは、電気ショックで心臓のけいれんを止めるだけなので、ショック後直ちに心臓マッサージを行う必要があります。

心臓マッサージは、傷病者の胸が少なくとも5cm沈むほど強く圧迫し、1分間に100回以上の速いテンポで、絶え間なく圧迫する必要があります。

危機管理課の指導の下、人形や装置を使って体験しました。このような研修を取り組まれない方は、ぜひご相談ください。



○「伊陸を知ってもらうためのPR動画」完成しました。

YouTubeで動画配信いたします。（6月23日配信予定）

「伊陸動画」や「伊陸コミュニティ協議会」で、検索してみてください。

○伊陸地区コミュニティ協議会の公式LINEに登録しよう！

地域の行事や害獣情報、ゴミの収集情報、災害情報などを受け取ることができます。

地域の皆さんで、様々な情報を共有し、いざという時に、地域全体で助け合うことができる「安心・安全な地域」を目指したいと考えています。

皆様のご理解、ご協力をお願い致します。



公式LINE QRコード